

小中学生の夏休みの生活に関する実態調査

読書感想文・自由研究 子の3割以上が苦戦

夏休みの宿題「手伝ったことがある」保護者 73.9%

株式会社栄光(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:山本博之)が運営する進学塾・栄光ゼミナールは、2018年6月6日(水)～6月20日(水)に、夏休みの生活に関する実態調査を実施し、小学2年生～中学3年生の子どもを持つ保護者 786 人の有効回答が得られました。

- 小中学生の保護者 73.9%が、子どもの夏休みの宿題を「手伝ったことがある」
- 小中学生の約7割が「宿題に取り組む計画を立てた」
- 夏休みの宿題で苦戦したもの、「読書感想文」34.5%「自由研究」31.6%
- 高校受験生の保護者「自由研究は子の負担になる」

栄光ゼミナール調べ

<調査概要>

調査対象:小学2年生～中学3年生の子どもを持つ栄光モニター会員

(栄光ゼミナール・大学受験ナビオ・栄光の個別ビザビに通塾する保護者)

調査方法:インターネット調査

調査期間:2018年6月6日(水)～6月20日(水)

回答者数:786名

小学2年生:14名(1.8%) 小学3年生:35名(4.5%) 小学4年生:92名(11.7%) 小学5年生:121名(15.4%)

小学6年生:181名(23.0%) 中学1年生:79名(10.1%) 中学2年生:119名(15.1%) 中学3年生:145名(18.4%)

昨年小学生:522名(66.4%) 昨年中学生:264名(33.6%)

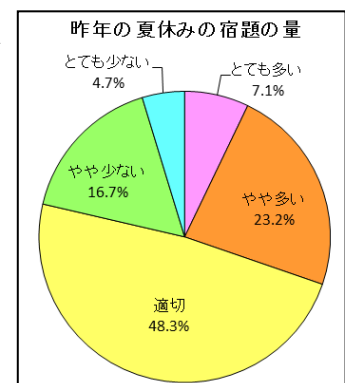
今年小学生:443名(56.4%) 今年中学生:343名(43.6%)

昨年の夏休みの宿題の量はどうか。

(n=786、単一回答方式)

学校から出された夏休みの宿題の量は、子どもにとってどうだったかを聞いたところ、保護者の 48.3%が「適切」だと回答した。

私国立小学校、私国立中学校、公立中高一貫校に通う子どもの保護者に限ると、「とても多い」「やや多い」と回答した保護者は 53.4%と、半数を上回った。公立の小中学校に通う子どもの保護者よりも、「夏休みの宿題が多い」と感じている保護者が多いことが明らかとなった。



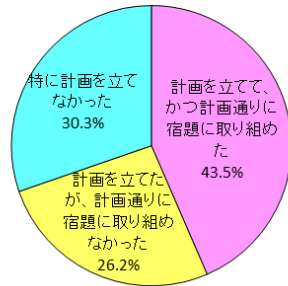
昨年の夏休み期間中、宿題に取り組む計画を立てましたか、また計画通りに取り組みましたか。

(n=775(うち昨年小学生 515、中学生 260)、単一回答方式)

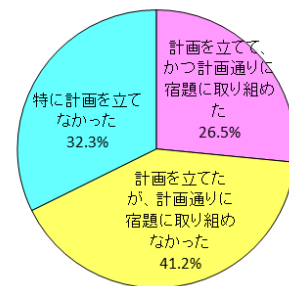
夏休み期間中、**小学生**と**中学生**ともに約7割が宿題に取り組む計画を立てたことが明らかとなった。

小学生の保護者の43.5%が「計画を立てて、かつ計画通りに

昨年の夏休み期間中、宿題に取り組む計画を立てたか、計画通りに取り組みましたか。【小学生】



昨年の夏休み期間中、宿題に取り組む計画を立てたか、計画通りに取り組みましたか。【中学生】



に宿題に取り組めた」と回答した。一方、中学生で「計画を立てて、かつ計画通りに宿題に取り組めた」のは26.5%となり、41.2%の保護者が「計画を立てたが、計画通りに宿題に取り組めなかった」と回答した。

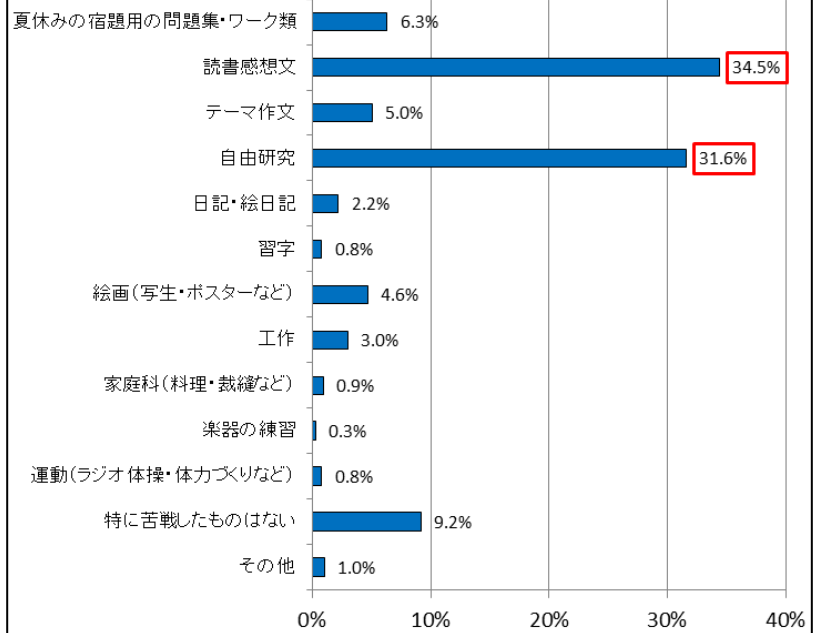
夏休みの宿題で、これまでにお子さまが一番苦戦した宿題は何ですか。

(n=775、単一回答方式)

夏休みの宿題で、これまでに子どもが一番苦戦した宿題を聞いたところ、「**読書感想文**」が**34.5%**と最も多く、次いで、「**自由研究**」が**31.6%**だった。

夏休みの学習・生活に関するフリーコメントでも、「読書感想文」「自由研究」についての意見が多く見られた。学校でやり方を学ばないため、苦勞しているというコメントも目立った。特に自由研究では、「自由研究の方法(テーマ・問題設定方法、調査方法、結果や考察をまとめる方法)を学校で学んでから、夏休みを迎えると有意義なものになる」という意見もあった。

これまでに苦戦した夏休みの宿題

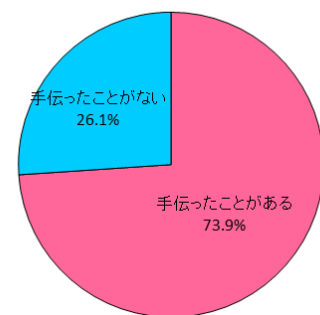


これまでに、お子さまの夏休みの宿題を手伝ったことがありますか。

(n=775、単一回答方式)

これまでに保護者が、子どもの夏休みの宿題を手伝ったことがあるかを聞いたところ、**73.9%**の保護者が「**手伝ったことがある**」と回答した。全学年とも7割を超える結果となり、学年による大きな差は見られなかった。

子どもの夏休みの宿題を手伝ったことがあるか

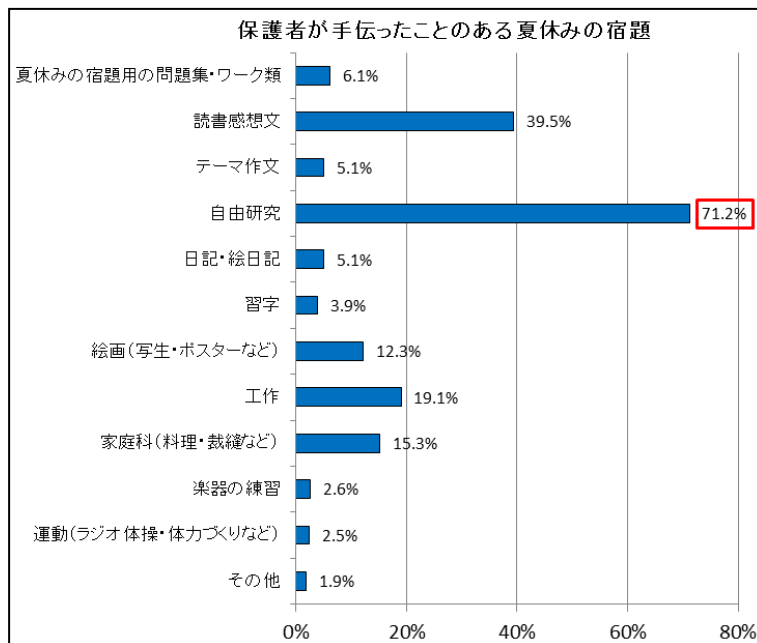


保護者が手伝ったことがある夏休みの宿題は何ですか。

(n=570、総回答数 1053、複数回答方式(あてまはるものすべて))

子どもの夏休みの宿題を「手伝ったことがある」と回答した保護者に、手伝った宿題を聞いたところ、**71.2%**の保護者が「自由研究」と回答した。次いで回答が多かったのは、「読書感想文」で39.5%となった。

「自由研究」「読書感想文」はともに、「子どもが苦戦した夏休みの宿題」として多くの保護者が挙げており、子どもが苦戦している宿題に、保護者も手助けしていることが明らかとなった。

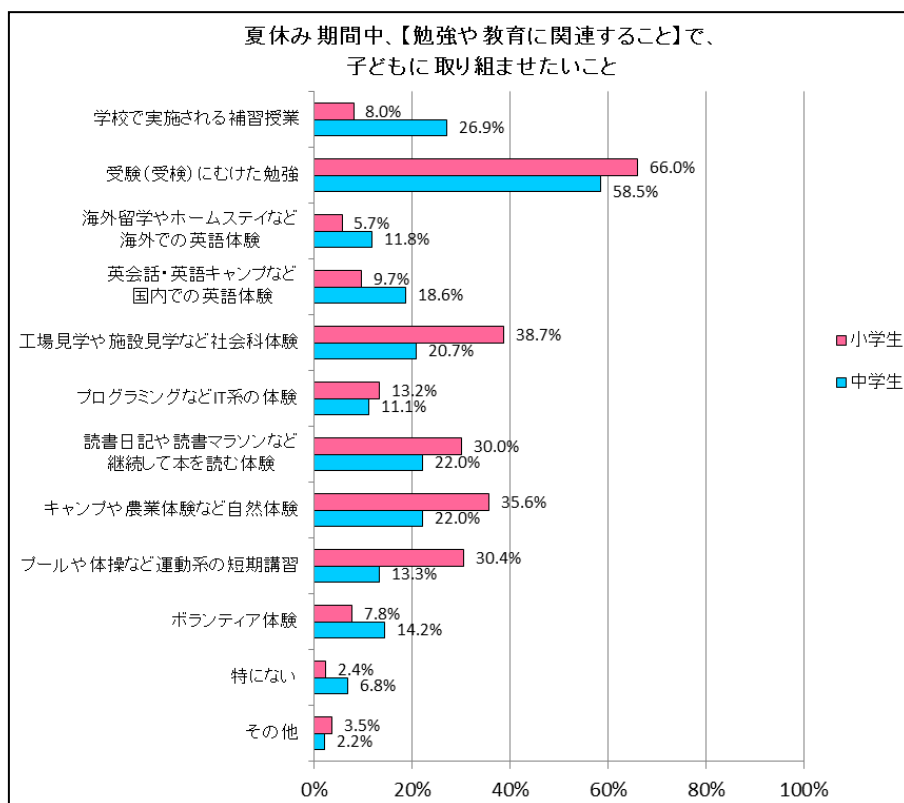


夏休み期間中、勉強や教育に関連することで、お子さまに取り組ませたいことは何ですか。

(n=747(うち今年小学生 424、中学生 323)、総回答数 1801、複数回答方式(あてまはるものすべて))

夏休み期間中、勉強や教育に関することで、子どもに取り組ませたいことを聞いたところ、**小学生・中学生ともに「受験(受検)にむけた勉強」が最も多く、約6割の保護者が回答した。**

小学生では、受験対策以外に、「工場見学や施設見学など社会科体験」「読書日記や読書マラソンなど継続して本を読む体験」「キャンプや農業体験など自然体験」「プールや体操など運動系の短期講習」の4項目で30%を超えている。中学生は部活動で夏休み中も忙しいが、小学生は比較的時間に余裕があるため、夏休みにしかできない体験をさせたいと考えている保護者が多いと考えられる。



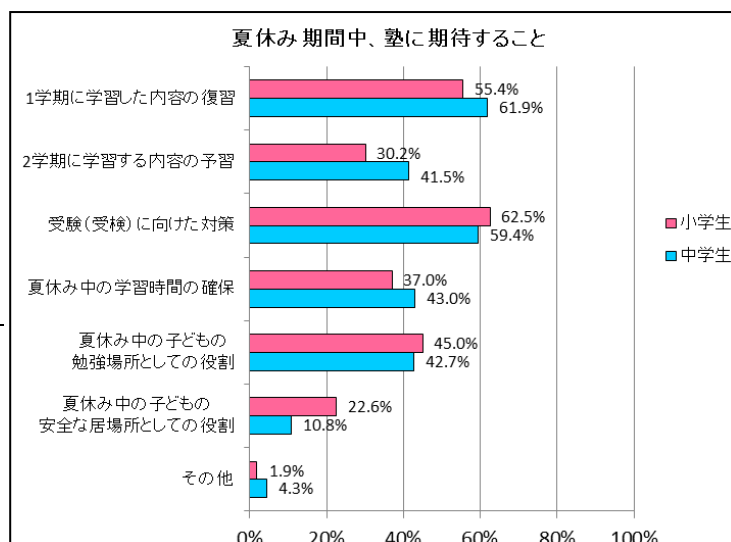
夏休み期間中、塾に期待することは何ですか。

(n=747(うち今年小学生 424、中学生 323)、総回答数 1932、複数回答方式(あてまはるものすべて))

夏休み期間中、塾に期待することを聞いたところ、小学生で最も多かったのは「受験(受検)に向けた対策」で62.5%の保護者が回答した。中学生の保護者が最も多く回答したのは、「1学期に学習した内容の復習」で、61.9%となった。

小学生と中学生の差が大きかったのは、「夏休み中の子どもの安全な居場所としての役割」で、11.8ポイントの差が開いた。

特に小学4年生の保護者からは、学童がなくなる初めての夏休みで、子どもが1人で安全に過ごすことが不安だ、という意見も多数あり、小学生の保護者は、夏休み中の子どもの居場所として塾を活用していることも明らかとなった。



夏休みの学習・生活に関して、保護者として感じていること、思っていることなどありましたら、お書きください。

夏休みの学習・生活に関して、以下のような意見が寄せられた。

<読書感想文や自由研究>

- ・本人と文献について対話することで執筆内容を決めた。自立性の涵養にはマイナスだったが、内容理解にはプラスであったと感じている。
- ・読書感想文の書き方を教えてほしい。泣きながらやっていたので、どうしたらいいか悩んだ。
- ・もっと気軽な数行の感想を書くようなものがないのでは。感想を書くのが苦痛で本来の「読書」のよさが伝わらず本嫌いを増やすだけのような気がする。
- ・自由研究は全部一人ですること本人も達成感があった様子だった。
- ・今年は自由研究として、やりたい！と本人の希望で、栄光サイエンスラボのエビの解剖を申し込んだ。自由研究のテーマが決まった安心感と楽しみでいっぱいようだ。
- ・自由研究などの宿題を手伝ってしまうことは本人の為にはならないけれど、親子で協力して何かを成し遂げる、という夏休みでしかできないこともあるので楽しかったような気がします。
- ・自由研究は結局子供一人でできるものじゃない。写真を印刷、実験に必要なものの準備は親の手が必要。模造紙へのまとめ方等も、学校でやったことがないので、1から助言が必要であった。これでは「親の宿題」だと感じた。
- ・受験生なのに自由研究があり、成績にかなり影響を与えるらしく頑張らなければならないらしい。

<学校の夏休みの宿題>

- ・学校の宿題が少ない分、塾の勉強で1学期の復習をしっかりしてもらいたい。
- ・学校の宿題は適切な量なので助かっている。量についての要望を出している保護者もいるので、意見があったら学校に伝えるべきだと感じた。
- ・学習以外の絵画や作文などの宿題が多いと感じる。

<夏休みの学習>

- ・あまりにも、宿題をやらないので、毎日自習室に行かせたら、はかどりました。

- ・遅れを取り戻すため算数の問題集に泣きながら取り組んだ。学力が伸びたが二度とやりたくないと言われた。
- ・学校の宿題は早めに済ませ、受験勉強に専念できるように計画していきたい。
- ・中学生になってから、自身の弱点を意識して、夏休みに克服するように努力する姿が見受けられるようになった。

<夏休みの経験>

- ・昨年、夏休み中の目標を自分で1つ決めて過ごしたが、その目標をクリアしたことで、その後の自信にも繋がった。
- ・農家の収穫体験やキャンプは、普段できない経験であり、一回り、二回り大きくなって帰ってきた。
- ・小学生でも留学しているような英語漬けのキャンプがあるといい。
- ・家事など、普段の生活ではなかなか一緒にできない事をゆっくり教えてあげたい。
- ・夏休み中の昼食は自分で用意するようにさせた。今では学校が休みの日はすべて自分で昼食を作っている。
- ・夏休みのお楽しみ企画として昼食を自分で購入する日を設定。栄養のバランスを考えて、設定金額内で購入するようルール設定したところ、金銭感覚やバランスの良い食事をとることが身についた。

<子どもだけで過ごすこと>

- ・今年は学童がない夏休みなので、勉強と遊びのメリハリがつけられるか、安全に暮らせるか不安がある。
- ・仕事を持つ親にとって、塾の自習室はありがたいと思っています。
- ・共働きで勉強をちゃんとしているのか、全く目が届かない。なるべく塾や習い事などを入れて、完全な自由時間を減らしてはいるが、それでいいのか？とも思っている。

<夏休みのスケジュール管理、時間の作り方>

- ・学年が進むにつれて、自分で勉強や宿題の計画が立てられるようになってきているので、親から特に指示することなく過ごしている。
- ・親は仕事があるため宿題や勉強を手伝ってあげることができないので、計画通りに進んでいるか、困っていることはないか話を聞いてアドバイスした。
- ・夏休み中も起床時間は変えない。生活リズムを一定にすることで、夏休み明けもスムーズに登校できている。
- ・普段はゆっくり読書する時間がないので夏休みこそはと思うが、結局思ったほど時間がとれないのが悩み。
- ・夏休みの学習計画を立てた際、本人の力量以上の予定を盛り込んでしまい、親子共にストレスになってしまった。
- ・暑さのせいにして、つい家のなかで過ごす時間が増え、毎年夏休みは運動不足が気になっている。
- ・部活と課題に追われ、自由な日が少ないので、高校見学などの時間がなかなかとれなく、後回しにしがち。

<夏休みの長さ>

- ・夏休みが長過ぎる。授業時間の確保が難しいといいつつ、学校は夏休みの短縮を行わない。
- ・夏休みが長過ぎると毎年思います。色々やらせてみるものの、あまり有効には活用できていないと思います。
- ・規則正しい生活をキープするのが難しいので、夏休みの日数が短くなって助かっている。

【自由研究は、栄光のSTEM教育「夏の特別講座 2018」におまかせ！】

栄光では、年長～小学6年生を対象とした、科学実験やロボット製作・プログラミングの講座を開講しています。

「STEM教育」とは、“Science(科学)”“Technology(技術)”“Engineering(工学)”“Mathematics(数学)”の頭文字で、日本でも注目されています。

「エビの解剖」や「動くスライム作り」、「地震発生シュミレーター製作」など、自由研究におすすめの講座を多数準備しています。

栄光のSTEM教育「夏の特別講座 2018」 <http://www.eikoh-sciencelabo.com/special/stem2018summer.html>



【栄光の個別ビザビで、夏休みの学習を計画的に進めよう！】

「栄光の個別ビザビ」では、お子さまの学習状況や目標に合わせて専用の学習プランを作成。「夏休み中も部活で忙しく、なかなか勉強の時間がとれない」「学校がなくてだらけてしまい、思ったように宿題が進まない」「夏休み中に苦手を克服したい」など、お子さまやご家庭のお悩みや目的に沿った最適な計画をご提案します。

夏休み中、自習室も自由に使えるので、家では集中できない方にもおすすめです。

ビザビの夏期講習 <https://www.eikoh-vis-a-vis.com/summer-course/>



会社概要

中学受験、高校受験対策の学習塾「栄光ゼミナール」や個別指導で目標達成へ導く学習塾「栄光の個別ビザビ」、高校生対象の大学受験対策塾「大学受験ナビオ」等、首都圏を中心に全国約 450 教室を展開しています。生徒の学ぶ意欲を引出し、自ら学ぶ姿勢を育てることで、中学受験・高校受験・大学受験の合格へ導き、生徒・保護者の期待に全力で応えていきます。

そのほか、科学実験専門教室やロボット・プログラミング教室なども運営しています。

本社： 東京都千代田区富士見二丁目 11 番 11 号

代表： 代表取締役社長 山本 博之

設立： 1980 年7月

本件に関する問い合わせは

Z会ホールディングス広報 大久保・渡辺

電話：03-5275-1685 Fax :03-5275-1679 Mob :070-4036-1980

メールアドレス：hiroko-okubo@zkai-hd.co.jp